

実践事例

第5学年「サッカー」の実践を通して

伯耆町立岸本小学校 西村 貴世志

1 はじめに

(1) 運動の持つ特性

サッカーは2つのチームが攻守入り交じり、パスやドリブルなどで相手の守りを交わしてボールを運び、相手ゴールにシュートして得点を競い合う運動である。ゲームにおいては、チームでの攻防の役割を決めたり、作戦を立てたりするなどして楽しむことができる。

また、ボールを足で操作する技術が未熟なことで、サッカーに対する苦手意識があつたり意欲を持てなかつたりする児童もいる。チームで協力し、励まし合いながら練習や試合をしたり、ルールや練習の仕方を工夫したりすることが必要になり、それにより、一人一人が楽しさを感じることができる運動である。

(2) 児童の実態【体育学習についてのアンケート(11月実施)より】

「ボールを使った運動・ゲームは好きですか」

とても好き 23人 わりと好き 10人 あまり好きではない 4人 全く好きではない 0人

「ボールを使った運動・ゲームは得意ですか」

とても得意 11人 わりと得意 18人 あまり得意ではない 8人 全く得意ではない 0人

「体育が好きではない理由・苦手な理由」

体を動かすのが嫌い・苦手な種目がある・ボールをとるのが苦手・ボールが怖い

体を動かすことやチームスポーツに積極的に取り組み、楽しもうとする意欲的な児童が多いと考える。また、技能面で悩みを抱えている児童がいる。

チームワークがよいとはどういうことだと思いますか?

- 仲が良い・息が合う・心がつながる (19)・助け合う (15)・みんなでパスを回す (8)
- チームみんなが楽しめる・けんかをしない・笑顔が出る (4)・みんなに声をかける (2)
- 上手に作戦を立てる (2)

ボール運動の学習でチームの役に立っていると思ったことがありますか?

- よくある 3人 たまにある 26人 あまりない 8人 全然ない 0人

- ・パスやシュートがうまくいった。(21)・味方を助けた (7)・味方に褒められた (2)

上記のアンケート結果から「みんなで楽しむためにはどうしたらよいか?」について考えさせ、声かけや雰囲気作り、練習による技能向上に取り組むことを確認したい。

2 実践について

(1) 単元の目標

- 運動に進んで取り組み、ルールを守り助け合って運動をしたり、場や用具の安全に気を配ったりすることができる。(態度)
- ルールを工夫すること、チームの特徴に応じた作戦を立てることができます。(思考・判断)
- 簡易化されたゲームの中で、ボール操作とボールを受けるための動きができる。(技能)



(2) 指導について

- ①教えて考えさせる授業の取り組み…教える（習得させたい技能）を明確にする。深化（身に付けた技能を生かした）課題を設ける。
- ②話し合い活動の充実…学習カードを使って。チームのめあて、活動の振り返りをチームで行う。
- ③掲示の工夫…全時の予定、動きのポイントや作戦の工夫のヒントとなる言葉、仲間への声掛けなど、整理しまとめる。



3 授業の実際（6／10時間目の授業から）

(1) 目標

- ルールやマナーを守り、友達と助け合って練習やゲームをしようとしている。（態度）
- チームの特徴に応じた攻め方を知り、チームの特徴に合った作戦を立てている。（思考）
- サポートの位置に動き、パスを受けることができる。（技能）

(2) 準備

学習や運動の図や絵 ボール カラーコーン ピブス 音源 学習カード

(3) 学習課題

■習得させること

- ・パスを受け取るために敵のいない場所（サポートの位置）に移動する。
- ・サポートした友達にパスを出す。



■予想される児童のつまずき

- ・サポートの位置に素早く動くことができない。
- ・トラップが正確にできない。

■深化問題

- ・4人対2人（攻撃に有利な状況）でのゲームを行う。

■予習について

- ・みんなが楽しんでゲームができることを考えチーム編成を相談する。

4 成果と課題

①教えて考えさせる授業の取り組み

予習をどう扱うのか？個人の技能を高めるための予習、チームの力を高めるための予習、どちらにしても児童は何を取組んだり考えたりしていくべきなのか、今後考えていく必要がある。パスワークを重視した指導過程であり、苦手な児童も前向きに取り組むことができた。攻撃がとても有利なルールであるため、スピード感に物足りなさがあった。運動量の確保といった面にも課題が残る。人数やコートの工夫が必要であろう。

②話し合い活動の充実

本当に教えたいたいこと、身に付けさせたいことをねらっためあてになっているかが大切。教えたいためあてに、児童自らが気付くことができるよう指導が必要。

③掲示の工夫

見通しを持って安心して学習に取り組んだり、次時の学習に向けて意欲を高めたりするために非常に効果的であった。